

平成27年度

千葉市健康づくり推進協議会
第1回8020運動推進部会
議 事 録

保健福祉局健康部健康支援課

平成27年度千葉市健康づくり推進協議会第1回8020運動推進部会議事録

1 開催日時： 平成27年8月21日（金） 午後7時～午後8時10分

2 開催場所： 千葉市美浜区幸町1-3-9
千葉市総合保健医療センター 2階 健康学習室

3 出席者

(1) 委員

金子充人委員、木屋和彦委員、杉崎幸子委員、岡部明子委員、渡邊茂委員、河野功委員、石川進一委員、山本雅司委員、藏屋勝敏委員、藤田興一委員
(委員12名中10名出席)

※欠席委員 関根務委員、井上孝委員

(2) 事務局

山口淳一保健福祉局医監兼保健所長、加瀬秀行健康部長、福田峰子健康支援課長、石川さゆり健康支援課担当課長、春名隆博中央保健福祉センター健康課長、秋葉慎輔保育支援課担当課長、丸山節子保育運営課担当課長補佐、飯田正宏保健体育課長補佐、鈴木隆子健康支援課長補佐

4 議題

- (1) 部会長及び副部会長の選出について
- (2) 千葉市の歯科保健対策の現状及び歯科保健事業実績について
- (3) フッ化物洗口の推進に係る取組みについて
- (4) その他

5 議事の概要

冒頭、事務局から、千葉市健康づくり推進協議会設置条例第7条第7項の規定により、委員の半数以上の出席があるため、会議が成立している旨の説明があった。

(1) 部会長及び副部会長の選出について

委員の互選により、金子委員を部会長に、関根委員を副部会長に選任した。

(2) 千葉市の歯科保健対策の現状及び歯科保健事業実績について

事務局から千葉市の歯科保健対策の現状と平成26年度の歯科保健事業実績の説明を行った。

(3) フッ化物洗口の推進に係る取組みについて

関係機関より幼稚園のフッ化物洗口実施と集団フッ化物洗口推進委員会の取組みについて報告があった。

事務局よりフッ化物洗口実施の支援と学校での洗口推進の取組みについて説明があった。

(4) その他

事務局から今後の審議日程について説明を行った。

6 会議経過

(1) 部会長及び副部会長の選出について

千葉市健康づくり推進協議会設置条例第7条第7項の規定に基づき、委員の互選により、会長及び副会長を選任した。

選出にあたっては、委員から、部会長に千葉市歯科医師会会長である金子委員を、副部会長に千葉市医師会顧問である関根委員をそれぞれ推薦する旨の提案があり、当該提案のとおり承認された。

(2) 千葉市の歯科保健対策の現状及び歯科保健事業実績について

事務局から、資料1「千葉市の歯科保健対策の現状(健診等の実績)」により、平成26年度の実績について説明を行った。また、資料2「千葉市民の歯・口腔等の状況」により、幼児期・学齢期の歯科保健の状況(う蝕有病者率)、政令指定都市の3歳児と12歳児のう蝕有病者率、政令指定都市の12歳児の一人平均う蝕本数とう蝕有病者率、3歳児のフッ化物応用の状況(歯面塗布経験者率の年次推移・歯みがき剤の使用率)、妊産婦歯科健診の実施状況(受診率の年次推移、受診結果)、歯周疾患検診の実施状況(受診率の年次推移、歯間部清掃用具の使用状況)、8020運動の目標達成状況(60歳・70歳で自分の歯を目標本数有する者の状況)についての説明を行った。

【質疑応答等発言要旨】

<岡部委員>

幼稚園でフッ化物洗口の説明会、保護者の説明会をおこなったということだが、どのくらいの割合で、保護者が参加したのか教えてもらいたい。

<福田健康支援課長>

ほとんどの保護者に参加して頂いた。

<藤田委員>

千葉市のう蝕有病者率が平均より高くなっている。名古屋市の有病者率が一番低い訳だが、どのような理由で違ってくるのか。また60歳・70歳で自分の歯を持つ人が増加しているとのことだが、最終目標の8020について現在の達成者について千葉市の状況を教えて頂きたい。

<福田健康支援課長>

3歳児のう蝕有病者率については、政令市の平均より低い市の多くがフッ化物歯面塗布事業を集団実施している。また、12歳児のう蝕有病者率の低い静岡・岡山・浜松・新潟・京都については4歳・5歳・小学校でフッ化物洗口を実施している。8020の達成状況については千葉市のデータについては現状で把握していない。

<河野委員>

昨年度の実績で妊産婦歯科健診の受診率が(妊婦)32.0%、(産婦)26.1%ということで、受診率の向上が課題ということだが、今後具体的に受診率向上のための対策として検討していることを教えてもらいたい。また、商工会議所にも医療介護部会があり、市民への周知やPRなど市と連携させてもらえればと思う。

<福田健康支援課長>

妊産婦歯科健診については、母子手帳交付時に、個々に専門職が妊婦とそのパートナーに妊婦健診・妊産婦歯科健診について丁寧に説明を行っている。未受診の人に関しては出産後の子どもの4か月児健診の際に再度お知らせをしている。未受診の人は「忙しい」という理由が多く、やはり地道ではあるが、個々の対象者に会える時間を持つということを継続していきたい。

<藏屋委員>

私自身かかりつけの歯医者で歯周疾患検診をやっていないと言われたことがある。行きなれているかかりつけの歯医者の方が受けやすいと思うが、歯周疾患検診を実施する歯医者が増えるということはあるか。

<金子部会長>

歯周疾患検診は歯科医師会の会員の歯科医院ならばできる。歯周疾患検診の受診率向上のために現在協議中である。

(2) フッ化物洗口の推進に係る取組みについて

関係機関・団体および事務局より幼稚園・学校での集団フッ化物洗口実施と集団フッ化物推進委員会の取組みについて報告と説明があった。

【取組みの報告の要旨】

<福田健康支援課長>

昨年度の8020運動推進部会の千葉市の歯科保健対策の課題にあった「むし歯予防」に効果的であるフッ化物応用の推進のため、千葉県歯科医師会に「集団フッ化物洗口検討委員会」が設置された。行政と歯科医師会がフッ化物洗口実施を同じ方向性で推進するための設置されたものである。

<木屋委員>

第1回集団フッ化物洗口推進委員会の議題として、反対の保護者や薬品管理等の実施に際する不安や費用などの「千葉県関係各課におけるフッ化物洗口の取組みについて」、フッ化物の基礎知識の説明として「フッ化物洗口の現状について」があがった。第2回目の委員会では日本大学客員教授小林清吾先生を講師に招き、協力体制の確保や実施に係る課題など「集団フッ化物洗口実施における課題について」の講演があり、保健体育課より「集団フッ化物洗口のモデル事業の進め方について」説明があった。さらに今後は必要時に「委員会」もしくは小規模の「作業部会」を開催することを決定した。

<福田健康支援課長>

健康支援課としてはフッ化物洗口の啓発とともに円滑な実施に向け、千葉県・千葉県歯科医師会のフッ化物洗口マニュアルに基づき導入の支援を行う。実際には、「知識の普及啓発」と「洗口導入に至る支援」が役割であると考えており、昨年度は幼稚園協会主催の8020講習会・養護教諭会の講習会において嘱託歯科医による説明や一部フッ化物洗口の体験を実施した。今年は乳幼児口腔保健指導事業の中央講習会においても、推進委員会の講師としてお招きした小林清吾先生に「ひろげようむし歯予防の輪 フッ化物洗口の基本」と題し、幼稚園・保育施設職員に向けてフッ化物洗口についての講演を行っていただいた。ここでも職員にフッ化物洗口の体験を実施した。さらに毎年恒例のヘルシーカムカムや健康課主催の健康フェアにおいてもフッ化物洗口体験コーナーを設け、普及活動を行っている。

実施予定・実施中の幼稚園・保育施設3園の状況について説明させて頂くと、若葉区「若松台幼稚園」では平成26年度4月よりパンフレットでの周知、水道水での洗口練習、6月に保護者説明会の実施、フッ化物洗口の希望調査を行い希望年長児に対し9月より洗口を開始に至った。平成27年度1月からは年中児にも実施しており順調に継続している。中央区「はまの幼稚園」では平成27年5月に教職員説明会の実施、パンフレット等での周知と年長児保護者への説明会を行い、1か月の洗口練習を経て7月より年長児で洗口開始の運びとなった。中央区「葵幼稚園」については平成28年度1月より年中児で洗口開始予定であり、理事長である石川委員に補足でご説明を頂きたい。

<石川委員>

現在葵幼稚園では1月の実施に向け、健康支援課と共同で職員の理解・保護者の理解を得るための説明会を実施している。むし歯を無くす手法の一つとしてのフッ化物洗口を共に考えるという姿勢で雰囲気づくりを行っている。また幼稚園協会の例会においてもフッ化物洗口の有効性の周知に取り組んでいる。今後も

協会の加盟園全園でフッ化物洗口が実施できるよう努力していきたい。

<金子部会長>

千葉市ではフッ化物洗口実施に際し反対意見もあったようだが、熊谷市長自らヘルシーカムカムのフッ化物洗口体験コーナーで子どもと洗口体験に参加し、フッ化物洗口事業に意欲的である。今後、その他の反対意見について対応が必要である。

<飯田保健体育課長補佐>

教育委員会としても会合等に参加し、フッ化物洗口の有効性や安全性は認識している。そして、それらを子どもたちに還元していきたいと考える。教育委員会としては教育を第一に考え、フッ化物洗口を通し子どもたちに自身の歯や口腔の健康づくりについて考える機会を持ってもらいたい。今年度は予算をつけ、モデル事業を実施していくということで、現在はモデル校3校で10月中旬あたりからの開始を想定している。現段階では保護者・教職員に説明会を実施しており、最終的には学校歯科医の協力のもと、保護者の承諾を得て週1回の洗口を実施する予定である。

<福田健康支援課長>

「集団フッ化物洗口推進委員会」を歯科医師会からご提案・設置いただき、今回の幼稚園・小学校の取組みの大きな進みになったと考えている。歯科医師会の全面的な協力に、感謝の意を表したい。

(3) その他

【発言要旨】

<藏屋委員>

フッ化物洗口は国・厚労省でも実施を推進する方針なのか。やはり反対派はフッ化物が毒物であるという誤った認識を持っているのか。

<金子部会長>

厚労省においてもフッ化物洗口を推進している。反対派は一部であり、現在日本ではかなりの人数で洗口が実施されている。フッ化物は歯みがき剤にも配合されており、洗口反対派のいうフッ化物の誤った認識は現実において当然成立しない。

<岡部委員>

これはお願いになるが、保護者に対しても堅い話ではなく、ロコミ的な伝わりの方が耳に入りやすいのではないかと思う。実施市町村では洗口実施の様子や子どもの写真などの展示を行うことで保護者の理解が進んだという話も聞く。そのような機会を活用し推進していくといいと思う。

また小学校高学年になると歯肉炎に罹患する子どもも存在し、フッ化物洗口を通し自分の健康を大切にするという意識を持ってもらうことで、むし歯予防だけでなく自分の健康をケアする方法を知ってもらいたい。

<金子部会長>

今後この部会として、むし歯予防に対する取組みとしての「集団フッ化物洗口の推進」を注視していきたい。

<福田健康支援課長>

次の部会は、次年度に予定している。

以上のとおり議事を進め、午後 8 時 10 分に閉会した。

以上

7 照会先

- ・会議の運営・議題について

保健福祉局健康部健康支援課

TEL 043 (238) 9926

FAX 043 (238) 9946

電子メール shien.HWH@city.chiba.lg.jp

平成 27 年 8 月 21 日（金）開催の平成 27 年度千葉市健康づくり推進協議会
第 1 回 8 0 2 0 運動推進部会の議事録として承認し、署名する。

千葉市健康づくり推進協議会 8 0 2 0 運動推進部会長